

平成29年度

事業計画書

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

一般財団法人 日本経営史研究所

平成 29 年度事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

○ 平成 29 年度の事業計画および収支予算の概要

平成 29 年度の事業計画と収支予算の概要は、以下のとおりです。

平成 26 年に編纂業務を受託いたしました『簡易保険創業 100 年史』は、予定通りに本年 10 月の完成予定を目指して第 1 次稿の執筆を完了し、社内チェックと訂正・校正を進め本年度中の完成を予定しています。また、『国分三百年史』の編集時に活用した同社の江戸期以降の社内文書を復刻し、流通史研究者のための『国分史料集』(仮題)の編集に新しく着手しました。

研究事業ならびに出版計画として、公益財団法人三井文庫とともに共同事業として立ち上げました『三井物産史の研究』につきましては、資料調査・収集の困難が多いため、当初予定した研究対象期間の変更などがあり、編集・執筆活動は大幅な遅れとなっています。改めて本年度中の執筆完了を目標として、執筆体制を再編成しています。また、平成 24 年にスタートした『産業経営史シリーズ』につきましては、平成 28 年度に第 8 冊目『財閥企業』、9 冊目『食品産業』、10 冊目『石鹼・洗剤産業』を刊行いたしました。本年度は第 11 冊目の『グローバル企業』および第 12 冊目の『自動車工業』の出版を企画しています。

また、2018 年には日本経営史研究所が財団として設立して 50 周年を迎えますが、その記念となる小冊子を企画し、執筆中です。

経営史料センターの活動としましては、本年も会社史の収集を継続して行ないながら、内外の研究者・関係者のニーズに応えるべく閲覧に供してまいります。

日本経営史研究所が、1981 年の設立以来、長年にわたって事務局を引き受けてきた企業史料協議会につきましては、本年度も従来通りの支援活動をつづけてまいります。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも関心を持たれるようになっており、いっそうの協力・支援を行なう所存です。

本年度の収支予算は、継続中のプロジェクトを完成することで、前年度と同様の収支予算を見込むことになりました。

平成 29 年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

- 1) 「産業経営史シリーズ」 (継 続)
- 2) 「三井物産史の研究」 (継 続)

2. 会社史等の編集受託

1) 「簡易保険創業 100 年史」

(完了予定)

2) 「国分史料集」

(新 規)